

## 試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2020-1012-3	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象: 地域住民コホート調査並びに三世代コホート調査 参加者 全員 試料: なし 情報: 基本情報、ゲノム配列情報(全ゲノム及びSNPアレイ情 報)、調査票情報(生活・食)、血液検査情報、既往歴(皮膚疾患、 アレルギー疾患)				
主たる研究機関	東北大学大学院医学系研究科			分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構				
研究題目	東北メディカルメガバンク地域住民コホートデータ並びに三世代コホート調 査を利用した日焼けの形質並びにアレルギー感作関連領域の抽出				研究期間	2020年7月～2027年3月			
実施責任者	浅野 善英	所属	医学系研究科			職位	教授		
研究目的と意義	地域住民コホート調査並びに三世代コホート調査で収集された約15万人分のうちSNP array並びに全ゲノム情報と皮 膚スキントタイプ(日焼けのしやすさ)、アレルギー関連因子情報[総IgE量、特異的IgE量、アレルギー疾患(アトピー性皮 膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎など)の疾患の有無]の情報を利用し、日焼けの仕方とア レルギー因子に関するゲノムワイド並びにMHC等の領域における関連解析を行い、日焼けの仕方並びにアレルギー 感作に影響しうるゲノム領域を同定することを目的とします。								
研究計画概要	コホート調査で収集された参加者アンケートデータ(アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎並 びに気管支喘息などの罹患の有無および日焼けのしやすさ)、総IgE値と特異的IgE値と一塩基多型(SNPs)の相関を ゲノムワイド並びにMHC等の領域における関連解析により検討し、アレルギー体質や日焼けのしやすさなどの皮膚機 能影響をあたえる遺伝子領域の同定を試みます。既にSNPアレイ解析が終了している地域住民コホート調査並びに三 世代コホート調査で収集された情報を使用して、研究を行います。さらに、すでに解析が終了している全ゲノム解析情 報を用いて追加で関連解析を行います。本研究に関連して参加者に追加で連絡をとるなど追加調査を行うことはあり ません。これまでに地域住民コホート調査並びに三世代コホート調査に参加頂いた方々から既に収集した情報を利用 して研究を行います。 その他、コホート参加者の方々からの遺伝子型情報を用いることで公共ゲノムデータについてもより高精度な遺伝子 型情報の取得が可能です。取得された遺伝子型情報を用いることで関連解析結果をもとにした比較解析などについて 公共ゲノムデータを含めた集団でも行います。								
期待される成果	全ゲノム解析が終了している検体を利用することでHLA遺伝子の解析を行い、MHC領域内の詳細についても踏み込 んで解析を進めることでアレルギー疾患をはじめとした免疫疾患などの機序解明に貢献できると考えます。 体質に関連する遺伝子を同定することは、新たな創薬のターゲットになるだけでなく、個別化医療を実現するた めには非常に重要な知見となります。特にアレルギー疾患は、予防が可能とされるため疾患関連遺伝子並びに疾患リス クを解明することは重要と考えます。								
これまでの倫理 審査等の経過	2026年2月 東北大学大学院医学系研究科倫理委員会承認								
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	ヒトを対象とする医学系研究の倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針、ToMMoセキュリティポリシーの他、 別途締結する研究契約を遵守して研究を遂行します。								
その他特記事項	科学研究費助成事業								

(事務局使用欄)

\*公開日 2026年4月7日